第３回　総合医療センター病児・病後児保育センター
指定管理者審査委員会　議事録（概要）

１　日時　　令和８年 10 月 29 日（木）　10：10～11：10
２　場所　　横須賀市役所　はぐくみかん　５階第４会議室
３　出席者　　川名委員（委員長）、木津委員、宮田委員、窪委員、神藤委員
　　欠席者　　なし
４　事務局　　子育て支援課　角田係長、松枝主任
５　傍聴者　　なし
６　議事趣旨
（１） 不開示情報に関する意見交換（非公開）
（２） 提案内容に関する意見交換
（３） 採点及び採点結果集計
（４） 指定管理者候補の選定
７　議事内容
（１）開会
（２）事務局からの連絡事項
・委員全員出席のため、指定管理者選考委員会等条例第４条の規定により、本委員会が成立している旨の報告
・傍聴者なしの報告
・委員紹介
・事務局紹介
・配付資料の確認
・進行方法等の説明
（３）提案内容に関する意見交換

指名団体　公益社団法人地域医療振興協会

〇法令遵守について
・現指定管理事業者として長らく施設運営管理を行っており、施設を運営するための基本的な法令遵守について特段の問題はないと考える。
・今後新たに施行されるこども性暴力防止法への対応についても、前向きに検討している旨の発言があった。

〇施設管理について
ア 仕様書等に基づいた施設管理を行えるか。また、施設管理を行う中で生じる施設課題に適切に対応し安全で快適な環境が確保されるか。
・総合医療センターと一体的な運営がなされており、小児科医が迅速に対応可能である

点が利用者にとって安全安心な保育環境であると考える。

イ 経費の削減分を活用した市民サービスなどの有効活用が見込まれるか。
・消耗品等を総合医療センターと共同購入することによるスケールメリットで経費が削減できる見込みが高く、自主的な施設運営の向上や利用者への還元が期待できる。
・自主事業として提案のあった利用料のキャッシュレス化も、利用者にとって利便性の向上につながるものと考える。

〇利用者への配慮について
・トラブルに対する適切な対応、および予約受付時の厳密な対応について必要条件を満たしている。
・医療面での安心・安全な支援体制を強みとしつつ、こどもや保護者の不安に寄り添い、より信頼され親しまれる病児保育室を期待する。

〇リスクへの対応について
・防災防犯の地域連携に加え、施設内事故における嘱託医・総合医療センターの栄養課への即時連絡体制等など、未然の防止および緊急時対応の双方が強固に整備されていると考える。
・特に食物アレルギーに関しては家庭申告とのずれまで考慮し、医師の診察を含め個別の相談対応等ができるように構築されており、医療機関と一体となった非常に極めて品質の高いリスクマネジメントが行われていると評価できる。

〇障害者、男女共同参画及び多様な性への配慮について
・障害者雇用を総合医療センターの職員とあわせて実施しているほか、各種法令も遵守している。
・必要な対応を行う姿勢が示されており、標準的な内容として評価できる。

〇地域貢献について
・地域の医療機関との連携や子育て支援に取り組む姿勢等も示されており、概ね標準的と評価する。

〇人員体制について
・人員はルールに則り配置しており、標準的と評価する。
・看護師を専属で配置し、リスク管理・感染管理に関する知識を習得している点は評価できる。e ラーニング等の研修環境も整っており、その点についても問題ないと考える。

〇市立総合医療センターとの連携について
・総合医療センターとの連携や連絡網が整備されており、ネットワーク化、さらには一覧化されており手順が分かりやすい。
・市内の小児医療の中心的役割が担われており、医療体制がしっかりと運営されている点も評価できる。

〇保育体制について

・医療機関との深い連携のもと、病児・病後児、障害児に対する万全な保育体制と環境が整備されている。

・居室やトイレの分離といった感染予防の基本的な環境整備についても一定の基準を満たしており評価できる。

〇衛生管理及び感染症対策について

・医療機関と同等の基準を維持し、医療機関の専門性を生かし衛生管理及び感染症対策を適切に行う体制が整っており、優れた提案であると評価する。

〇広報及び周知の工夫について

・事業者独自で展開する広報活動には限界があると思うが、総合医療センターの小児科外来での掲示など、現実的な提案がなされていた。

・次期指定管理期間では、利用の拡大が事業者の収入増に直接つながるため、自助的な利用拡大に向けた取組みが促されると良いと思う。

〇保護者対応について

・予約システム、連絡体制、マニュアル、緊急連絡先といった必要なものが整備されている。

・保護者への説明や相談に対する配慮の視点も示されている。

〇指定管理料について

・保育士や看護師の人材確保、職場定着は全国的な課題であることから、従事者の処遇をしっかりと確保することが施設運営の安定化にも資すると考えるので、安易な人件費削減の提案がなかったことは評価する。

・可能な範囲で施設運営を効率化することで、経営を健全なものに保っていただくことが重要と考える。

（４）採点及び採点結果集計

・出席委員５名により採点を行い、集計結果を発表

（５）指定管理者候補の選定

・指名団体の評価を行い、全委員の総配点 1,100 点満点中 820 点で６割の 660 点を満たしており、最低基準を下回る項目は無いことを報告。

・指名団体である「公益社団法人地域医療振興協会」を指定管理者候補団体に決定。

（６）閉会